

「確かな学力」の育成

上益城教育事務所

検証改善サイクルを生かした授業改善

- ① 課題改善プランの活用
 - 諸学力調査結果の全教員による速やかな分析の実施と課題の共有
 - 課題解決を図る校内共通実践事項の設定と徹底
 - 日々の授業改善につながる校内研修の工夫
例) 教員が実際に学力調査問題を解き、求められる力を確認する等
- ② 児童生徒が「分かる・できる」「楽しい」授業の推進
 - 『何を学ぶのか』が分かる「めあて」の板書
 - 『何を学んだか』『どのように学んだか』を確認する「まとめ」の板書
 - 「〇〇が分かった」「〇〇が出来るようになった」と実感できる適用問題（練習）や振り返りの時間確保
- ③ 適切な学習評価に基づく、個に応じた指導の充実（指導体制の工夫）

補充的な学習の計画的な実施

- ① 県学力調査及び全国学力・学習状況調査の過去問題、課題解決プリント、ゆうチャレンジ単元別評価問題の計画的な活用

家庭における学習習慣の確立

- ① 明日の授業に生きる家庭学習の量と質の向上を図る指導
- ② 児童生徒の学習意欲の向上を図る家庭との連携
例) 「家庭学習の手引き」の活用、帰りの会での家庭学習の指導
学力の伸びや学校の取組の発信
- ③ 学校図書館等を計画的に活用した読書活動の充実